

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かな子どもを育てる～



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第27号 R2.8.3

## 豊能町夏季教職員研修（第1・2講座）

例年であれば夏季休業中に行われる夏季教職員研修ですが、今年度は学校園所で授業が行われている中、例年と違う形で4講座開催することとなりました。本庁を会場とし、密集を避け、授業中ではありますが先生方に少しでも参加してもらえよう、各学校にてスカイプで視聴できるようにしました。初の試みです。

研修には、本町の教職員だけでなく、教育委員や学校協議会委員の方、他市町からもご参加いただきました。

### 【第1講座】7月29日（水）管理職等研修 「小中一貫教育」

講師として、義務教育学校姫路市立白鷺小中学校校長の山口偉一先生をお招きし、「姫路市の小中一貫教育のあゆみと展望」について、ご講演いただきました。小中一貫教育のスタートとその背景、取組の具体、義務教育学校としての取組、研究について、その成果だけでなく課題に関するお話も聞くことができました。



「小中一貫教育は、これからの教育の大きな柱になります。」  
(山口偉一先生の講演より)



「自尊感情を育てるのに褒めるばかりでは意味がない。困難・失敗を乗り越えさせ、内なる達成感を与えること。」  
(土田光子先生の講演より)

### 【第2講座】7月30日（木）「人権教育」

昨年度に引き続き、大阪教育大学非常勤講師の土田光子先生を講師としてお招きし、土田先生の実践から教職員の子どもの見方、子どもへの関わり方を学びました。

## 「とよの未来科」創設に向けて ～ふるさと♡とよの③～

「とよの未来科」では、子ども達にも、地域の自然を活用した体験活動等とおして、「地域に対する理解」「地域をみつめる能力」「地域を大切にす態度」を育てていきたいと考えています。

### 【里山の風景 棚田 ～牧編～】

豊能町役場より国道423号を2.3km北上すると、牧の棚田が現れます。先人の努力と受け継ぎ、今もなお命の源である米を実らせる棚田の風景を眺めると、美しさとともに歴史の重みを感じます。

自然環境豊かな貴重な財産である棚田を守るため、今も「棚田・ふるさとファンクラブ」の方々が地元の農家の方々と一緒に保全活動を行っています。



(棚田・ふるさとファンクラブの活動の様子！)



[http://www.pref.osaka.lg.jp/nosei\\_seibi/katudou/tanadahurusatofan.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/nosei_seibi/katudou/tanadahurusatofan.html)

## 熱中症対策 ～「涼感マフラータオル」配布～

7月31日によりやく近畿地方の梅雨明けが発表されました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響による授業時間の確保のため1学期を延長することとしましたが、猛暑の中の学校生活における熱中症が懸念されるところです。

豊能町では、熱中症対策として、児童生徒の皆さんに「涼感マフラータオル」を配布しました。登下校時にもマスク着用をしていることから、通常の登下校時に比べて体感温度は高くなり、疲労感があると考えられます。この涼感マフラータオルを使用し、少しでも涼しさを感じながら熱中症に気をつけ、学校生活を送っていただきたいと思います。



スーッと爽快！濡らすだけで冷んやり！